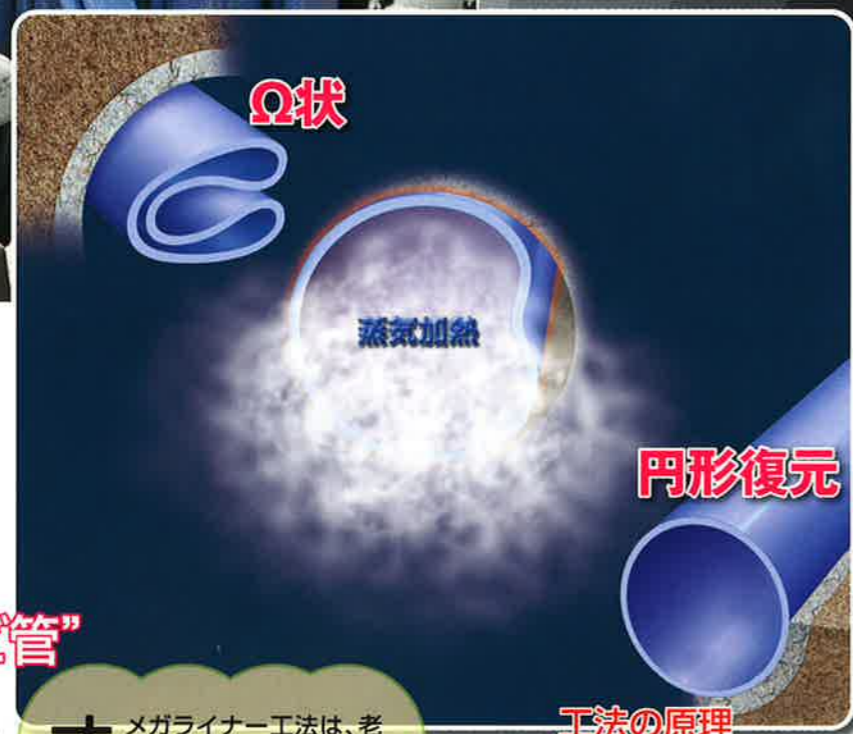


オメガライナー工法

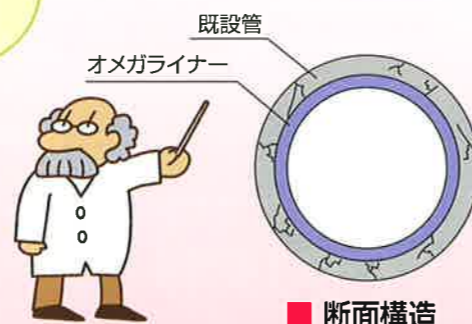
既設適用管径
 自立管タイプ 150~400mm
 二層構造管タイプ 200~450mm
 ライニングタイプ 150~450mm



工法の原理

オメガライナー工法は、老朽化したコンクリート、鋼管などの小口径管路をΩ状に折りたたまれた形状記憶塩ビ管を使って更生する工法です。

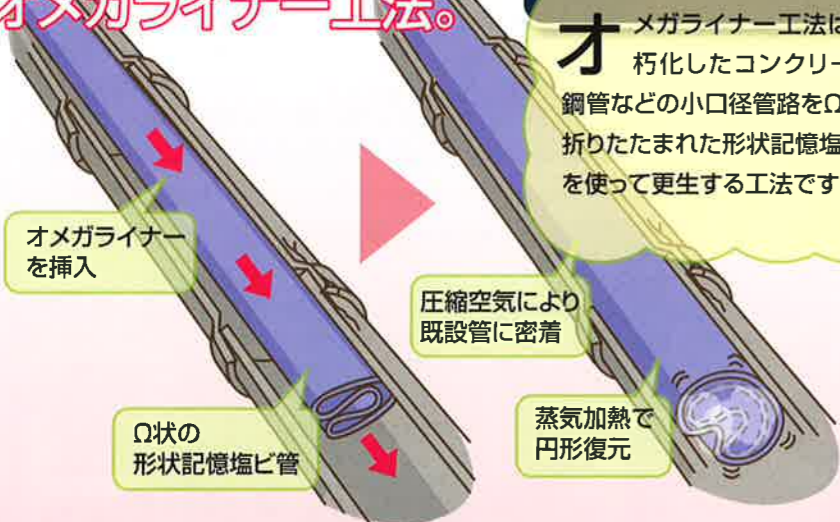
あらかじめ工場でΩ状に折りたたんだ形状記憶を持つ硬質塩化ビニル製パイプを蒸気で加熱することで円形に復元させ更生します。



断面構造

What's オメガライナー?

小口径の老朽管更生は
 “形状記憶を秘めた塩ビ管”
 オメガライナー工法。

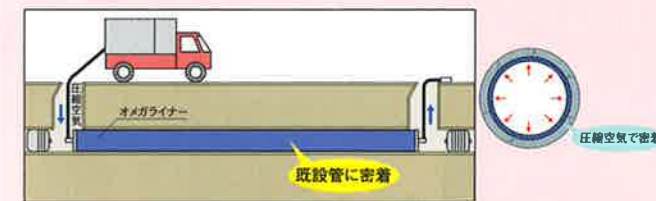


施工

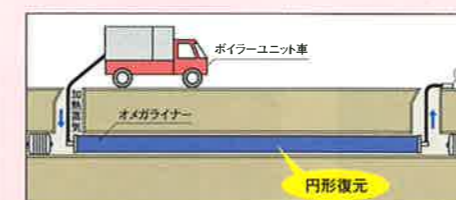
① 既設管への引き込み。



③ 圧縮空気により既設管と密着・冷却。

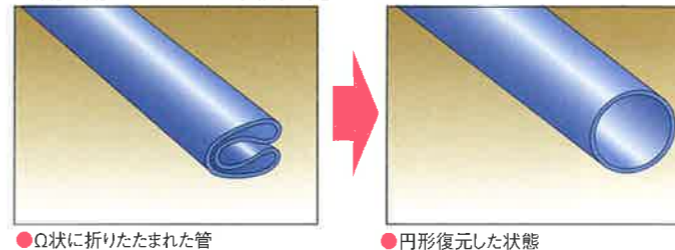


② 蒸気加熱で円形復元。

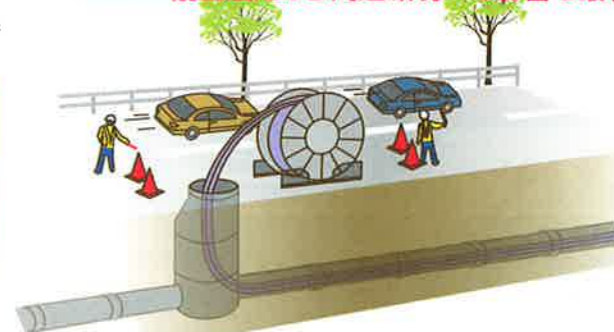


特長

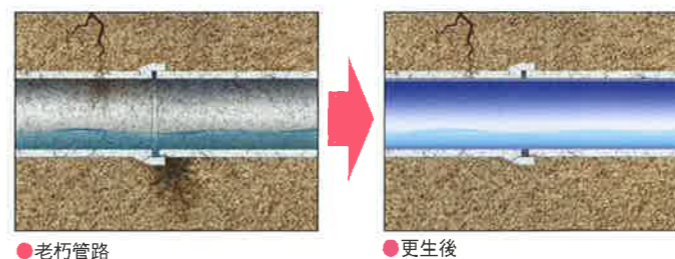
■ 加熱のみで円形にスピード復元。安全性・確実な管路更生
 更生材は(社)日本下水道協会の工場認定品で品質が安定。有機溶剤を用いないために臭気の発生がありません。



■ 非開削工法だから周辺環境への影響も最小限



■ 強度・耐久性・耐震性に優れた塩ビ管路に更生



■ スピーディで容易な施工性、工期短縮とコスト縮減



■ 既設管の劣化具合に応じて3種類をラインアップ

強 ↑	オメガライナー-R(I) (自立管タイプ)	自立強度を持ち、更生管単体で埋設強度に耐えるため、既設管の損傷の程度にかかわらず全く新しい強固な管路として復元させることができます。
	オメガライナー-R(II) (二層構造管タイプ)	腐食やクラック等により、既設管きよが損傷状態にあるが、既設管きよの残存強度がある程度期待できる場合に使用します。更生管が既設管に内接して、既設管と共に外力を負担し、埋設強度等に耐えます。
	オメガライナー-Ln (ライニングタイプ)	既設管の損傷程度が比較的軽く、既設管が埋設強度を負担できる場合に使用します。地下水に対する耐外水圧強度は確保しており、地下水位が高く、更生管に地下水圧が直接かかっていても問題ありません。